

シルバー 安全だより

第31号

平成17年8月1日

(社)日向市シルバー人材センター

安全管理委員会

気を引き締めて安全就業



安全管理委員長
藤田辰巳

会員の皆様、毎日暑い日が続く中での安全就業は大変だと思います。ご苦労様です。

7月は恒例の安全就業強化月間であり、13日には宮崎の芸術劇場で今年も安全就業推進大会が開催されました。県内各シルバー人材センターの会員さん600名程の方が参加し、日向市からは「大正琴菜の花会」の方と共に約40名が出席いたしました。大会次第に基づき安全標語の入賞発表、表彰が行なわれ、我がセンターより黒木靖男さんが優秀賞を受賞されました。おめでとうございます。

更に安全就業強化月間に伴い、私達のセンターも29日に1日かけて(14箇所)安全パトロールを実施いたしました。剪定5箇所の内、三角梯子・脚立等の使用については以前より多少改善されましたが、未だに天板又はフェンスを足場にしている会員さんも見受けました。今後は同じ事を2度も3度も指摘されないように安全就業に努めて下さい。

自分の身は自分で守って下さい。

これからも残暑がきびしいと思います。各作業終了後は大変お疲れの事と思いますが、無事家に帰り着くまで気を引き締めて安全就業に努め、常に健康の維持管理をし頑張ってください。

7月29日(金)のパトロールを終えて

今日も厳しい暑さの中で体いっぱい汗を流しながら働いている会員の皆様の姿を見ると頭の下がる思いでいっぱいです。

本年度2回目のパトロールで、現場に近づくとつい標識・看板の設置はどうか？に必ず目が先にいきます。会員全員がヘルメットを着用しているか？作業に適した服装か？道具は整理されているか？脚立はどうか？などを重点にパトロールしました。

脚立の使用につきましては安全性より仕事の効率を優先されている会員さんを2、3名見ました。その都度指摘はしましたが、皆さんどうか安全第一で就業される様お願い致します。又、植木の枝に剪定バサミを掛けている人もいました。下では女性会員が片付け作業をされている事を忘れないで下さい。

標識・看板については、今回はどの現場も大変良くなっていました。まだまだ草刈・剪定作業が多いと思います。防護ネットを確実に張り事故防止に努めて下さるようお願い致します。

まだまだ暑さもつづきます。早寝早起きで体調管理をして下さい。又、こまめに水分、塩分を補給し熱中症対策をし、自分の体は自分で守り、今後も事故ケガのない事を祈っています。

知識 英明 委員



本日の安全3則の唱和(4月)



パトロール中(7月)

追加募集 安全標語・川柳を考えて! 8月31日メ切 事務局へ

平成17年度 安全就業推進大会(7月13日) 宮崎県立芸術劇場にて

『昨日は大変緊張したけれども心に残る、記念になる演奏が出来ました。又機会があったらやりたい』今回大会のアトラクションで大正琴を演奏した「菜の花会」全員の声である。

7月13日平成17年度県シ連の安全就業推進大会が県立芸術劇場で六百人余りの参加者のもと盛会に開催されました。

恒例の会長あいさつに始まり来賓あいさつ・安全標語の発表表彰・事例体験発表である。この事例体験発表であるが、なにか心に止まるものがなく、ただ単に拠点センターの行事の紹介に終わったように思う。本大会は会員の安全就業に対する意識の高揚を高めるものと思い工夫ほしいところであった。たとえば自分の所で起きた事故を詳細に報告することにより個々のセンターに置きかえ、自分だったらどうするかと考える。このことが会員の意識の改革につながるのではないだろうか。

「安全就業は心にゆとり気力の充実」安全就業は心にゆとりを持ちつづけることが必要だと思う。その一つが音楽鑑賞だろう、心静かに大正琴を聞く、歌い、踊り、そういう意味では今回の大会は成功裏に終わったのでは……………。

事務局長 田辺 英雄



アンコールの声もかかるほどすばらしい舞台でした

おめでとう！ 優秀賞 黒木靖男さん
「歳はとってもシルバーパワー
経験活かして安全就業」



がんばれ！
あつおくん



事故発生

6/13草刈作業中に住宅の窓ガラスを破損!

7/12家庭での清掃中にケガ!

《事故とその防止対策》

仕事の種類	事故の内容	防止対策
草刈作業	空地の草刈り作業中石をはね隣家の窓ガラスを破損	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小石、ガラスの破片、釘等の障害物の確認・除去 2. 防護ネットを正しく使用する、対象物と防護ネットと草刈り機との間隔確認 3. ビニールひもは使用しない
清掃作業	金具を使ってサッシの溝を清掃中誤って左手首を刺した	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業に適した道具の使用 2. 道具類の使用は正しい使用方法によること 3. 無理な姿勢で作業しないこと

でも、社会のつながり、開いてたりする……